

令和6年度 岩手県立盛岡青松支援学校経営計画

校長：青柳 禎久

1 校訓・教育目標	<p><校訓></p> <p style="text-align: center;">明 朗（明るく元気な人） 自 主（進んで学ぶ人） 創 造（挑戦し考える人）</p> <p><教育目標></p> <p style="text-align: center;">児童生徒が主体的に学習に取り組みながら、病気や障がい乗り越え、希望をもって明るく強く生き抜く豊かな人間性を育む</p>					
2 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒	保護者	地域住民	他	
	(2) パートナーとの関係	児童生徒	保護者	地域住民	他	
	(3) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の減少と年度途中での転入者への対応 ・精神疾患及び行動障がいのある児童生徒の割合の増加 				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標		
		ア 豊かな心を育み、基本的生活習慣の確立と健康増進に努める。	・学校評価アンケート(児童生徒)のうち、基本的生活習慣に係る項目のプラス評価(A、B)の割合【70%以上】			
		イ 一人一人が意欲をもち主体的に学習に取り組めるよう、授業及び教育課程の改善を進める。	・校内授業研究会を含め、他学部の授業を2回以上参観する教職員の全体に対する割合【80%以上】			
		ウ 自分らしい生き方の実現に向け、必要な経験が積めるよう、段階を踏んだキャリア教育を充実させ、地域に貢献できる人材の育成を図る。	・学校評価アンケート(保護者)のうち、児童生徒の進路実現に係る項目のプラス評価(A、B)の割合【90%以上】			
		エ 特別支援教育の専門性向上のための研究及び研修を充実させる。	・本校における研究部及び支援部主催の研修会に参加する教員の出席割合【80%以上】			
		オ 学校いじめ対策組織を中核として、いじめの防止に努める。	・学校評価アンケート(児童生徒)のうち、「学校はいじめ防止に適切に取り組んでいる」に係る項目のプラス評価(A、B)の割合【90%以上】			
		カ 教職員一人ひとりが児童生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する。	・学校評価アンケート(保護者)のうち、「学校は、適切な指導・支援を行っている」に係る項目のプラス評価(A、B)の割合【85%以上】			
	(2) 取組方針	<p>ア 豊かな心を育み、基本的生活習慣の確立と健康増進に努める。 (7) 病気や障がいの理解とカウンセリング・マインドを活かした心身のケアの充実</p> <p>(4) 小中高等学校との交流及び共同学習の推進と体験的学習の工夫</p> <p>イ 意欲をもち主体的に学習に取り組めるよう、授業及び教育課程の改善を進める。 (7) 授業研究会や互見授業の実施、観点別評価と授業改善の実施</p>				

	<p>(イ) 指導内容及び教材の精選、指導方法の工夫、ICTの積極的な活用</p>
	<p>ウ 段階を踏んだキャリア教育を充実させ地域に貢献できる人材育成を図る。 (ア) キャリア教育全体計画に基づく、各学部が連動した具体的取り組みの推進 (イ) 目標をもった進路選択に向け、進路指導や外部関係機関との連携の重視</p>
	<p>エ 特別支援教育の専門性向上のための研究及び研修を充実させる。 (ア) 実践に直結する研究推進と、個別の指導計画を活用した自立活動の充実 (イ) 学識経験者や医師との連携による病状や障がいに関する研修の実施</p>
	<p>オ 安全安心な学校づくりを推進する。 (ア) アンケートや面談等でいじめの兆候の把握と情報共有、組織的対応の徹底 (イ) 児童生徒のよさを認め、存在感や充実感を感じられる指導支援の工夫</p>
	<p>カ 児童生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する。 (ア) 不適切な指導等に関する正しい理解の普及徹底 (イ) 指導における悩みを職員間で共有し、不適切な指導については「子どもを守る」強い意識で管理職に報告できる職場風土の醸成</p>